

にっぽんの夏、いじめの夏

「日本の現在」を考える3

浅羽 通明

School
market

1. ループを始めた日本いじめ年

斎藤環、ツイッターで嘆く 「いじめ、無策のまま繰り返される「祭り」 - 斎藤環氏（精神科医）」

☞ 毎度毎度、判で押したように反復される既視感にいささか眩暈が。臭気、おっと周期はだんだん短くなってますね。マスコミが学校側や教育委員会その他をまず叩き、ネット上では加害者とその家族が特定されて雁首並べて晒される。

☞ 識者が担ぎ出されて「やりかえせ」「チクれ」「逃げて良いんだ」とか十年一日の御託が並べられ、若者の病理と変質がみてきたように語られ…すっかり溜飲を下げた人々は1ヶ月もすれば報復感情も癒えてまた忘れる。

☞ 被害者支援も加害者対策も、この30年間ほとんど進歩がないのは、不登校対策とかも同様だから驚かないが、無策のまま繰り返される「祭り」にしか見えませんね（2012.07.07）

内藤朝雄、「図書新聞」で怒る 「いじめ報道祭りへの怒り」（『いじめと現代社会』双風舎）

☞ いじめ研究者にとっては、「ああ、またか」としか言いようのない、いつもの退屈な心理—社会現象。教員が汚い隠蔽工作をしたり、地域住民がPTAや父母の熱心なグループを中心に「学校を守れ」「先生を守れ」という運動をし、被害者家族に対する誹謗中傷をまきちらすことも、よくあることである。

☞ 今回のいじめ報道祭りを見ていて、10年前、20年前とまったく変わっていないことに怒りを禁じえない。いままでの、いじめ研究の蓄積はなんだったのだ。流行のあとに無視され、忘れられたのではないか。報道ネタとしての流行が戻ってくると、同じような報道と識者コメントを最初から繰り返かえす。（2006.11.18）

➡ 何も変わらず繰り返してるじゃないかという既視感までが、繰り返され始めた！！

ループは、さらに遡って観察できる

➡ 「あえていうが、世間の「騒ぎ方」もまるで十年一日のようだ」（1994.12.17）

最も愚劣な定番識者コメント

☞ 「いじめられる者の痛みや辛さを教えよう」

➡ 加害者ほどそれを知り尽くしている者たちはいない。知ってるからこそ、それだけの苦痛を自在に与える強者となる快楽へのめりこめるのだ。

☞ 「いのちの尊さを教えよう」

➡ いのちの大切さを加害者ほど知っているものはいない。彼らはその最も大事なものを自ら捨てるよう命令

朝日新聞のコラム「いじめられている君へ」に寄せられた著名人のコメントを浅羽氏が要約、評価したものです。前半が2006年のもの、後半が2012年のものです。なぜこういう評価になるかについては、講義を聞いた上で改めて検討してみてください。「め」は「いじている君へ」、「られ」は「いじめられている君へ」、「見」は「いじめを見ている君へ」向けられたコメントです。

2006年11～12月（朝日新聞）				
名前	職業	対象	コメント要約	評価
あさのあつこ	児童文学者	られ	生きていれば誰かと支え合える瞬間来る	×
斎藤環	精神科医	め	いじめる気分よさや安心感はじつは怖い	◎
鴻上尚史	劇作家	られ	学校行かなくていいから逃げろ	○
林家正蔵	落語家	られ	親や教師以外でも誰かに話そう	△
宮本亜門	演出家	め	ほんとうは嫌なんだろうからやめる勇気を	×
高史明	作家	られ	自分は手足もだから心の都合で死を決めるな	○
久保純子	アナウンサー	られ	強くなろう、相談しよう	×
ソニン	タレント	め	いじめられれば痛みわかる、つらさ打ち明けよう	×
千住明	作曲家	め	君は実は中間派でいじめっこじゃない	◎
横嶺さくら	プロゴルファー	られ	家族に相談しよう	×
むのたけじ	ジャーナリスト	め	戦中戦後の大人たちみたいになるな	×
華恵	作家・モデル	られ	一緒から離れ読書や趣味でひとりになろう	○
野田知佑	作家・カヌー漕ぎ	られ	学校のグループから広い世界へ	○
村田兆治	野球解説者	め	相手の気持ちに気づけ	×◎
さかなクン	東京海洋大助教授	られ	広い世界へ出よう	○
野口健	アルピニスト	られ	広い世界知れ、相談しよう	△
高木ブー	タレント	られ	ウクレレで救われた、ドリフは反いじめ劇	×
松谷みよ子	作家	め	相手の苦しみに気づけ	×
松井秀喜	大リーガー	られ	立ち向かわず大好きなことを見つけよう	○
石田衣良	作家	られ	自殺せず死んだふりをして強くなれ	△
長州小力	お笑い芸人	め	いじめと違ってなくても死へ追いやってるかも	○
平野啓一郎	作家	め	いじめてたら自分好きにならない	△
中村俊輔	プロサッカー選手	られ	試合のためにチームでは深刻いじめは無理	○
増田明美	スポーツジャーナリスト	見？	誰かに声上げて伝えろ	×
川嶋あい	シンガーソングライター	られ	打ち込めるものを、相談を	△
鳥越俊太郎	ジャーナリスト	られ	先は長い、いじめの時間は短い	×△
乙葉	タレント	め	人を傷つける人は損だしかわいそう	×
松本零士	漫画家	られ	生まれてきた尊さ未来の無限を思え	×